

あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石見子先生

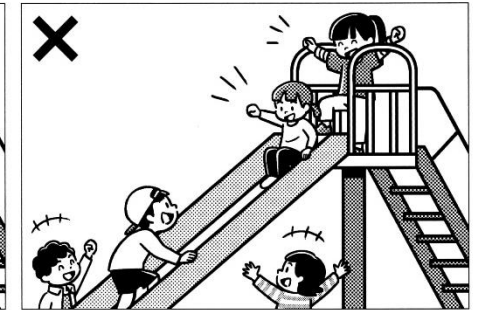
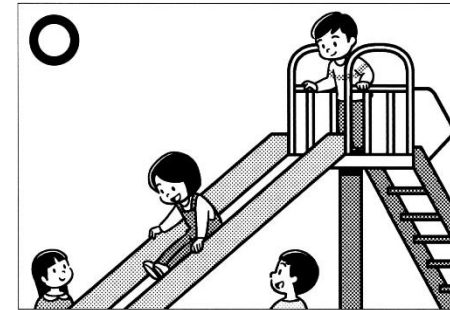


公園で安全に遊ぶための 約束を身につけさせましょう

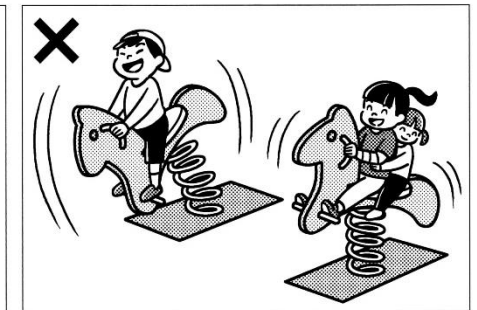
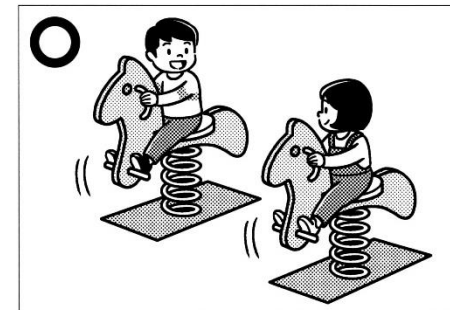
10月になりました。「スポーツの秋」などということもありますが、この季節は風も爽やかで、屋外で体を使って遊ぶには気持ちの良い気候です。子どもたちが、けがや事故、事件に遭わないように、公園で安全に遊ぶための約束を身につけさせましょう。



くさを しっかり つかみ すわって のる。ふたりのりや
たちこぎは しない。じゅんばんは さくの そとで まつ。

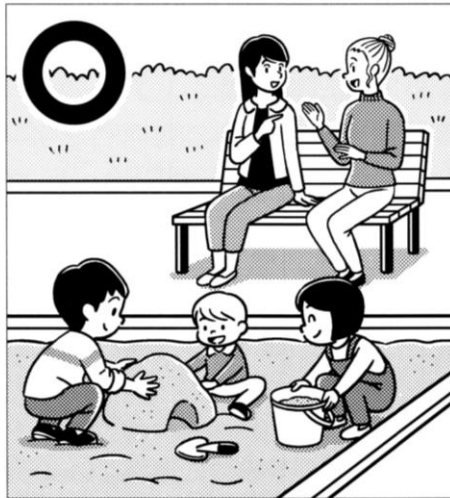


ひとりずつ じゅんばんに すべる。すべりだいの うえで
ふざけたり はんたいがわから よじのぼったりは しない。



もちてを しっかり つかみ すわって のる。ふたりのりや
たちのりを したり らんぼうに ゆらしたりは しない。

やくそくを まもって たのしく あんぜんに こうえんで あそぼう



こうえんで あそぶ ときに いちばん たいせつな ことは
こどもだけで いかない こと。かならず おうちの おとなの
ひとから みえる ばしょで あそぼうね。

保護者の方へ 安全の基本は、子どもだけにしないことです。「いつも行く公園だから」「家のすぐ近くだから」と油断せず、必ず保護者が同行するようにしてください。また、保護者の目が届かないところでは、子どもが不審者などに遭う危険性がありますので、保護者は子どものそばにいて、しっかり見守ってください。

保護者の方へ 安全に遊具で遊ぶためのルールを子どもたちに伝えて、しっかり守らせてください。保護者が危険だと感じた時は、すぐにやめさせてください。

11月号では「明るいうちの帰宅」について取り上げます。